

令和2年度
教育課程研究集会
小学校 音楽

奈良県教育委員会事務局学校教育課
指導主事 辰巳 真弓

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

以下「参考資料」と示す

- 第1編 総説
- 第2編 「内容のまとめりごとの評価
規準」を作成する際の手順
- 第3編 題材ごとの学習評価について
指導事例（4事例）の紹介


国立教育政策研究所のwebページからダウンロードすることもできます。

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

小学校

音楽

令和2年3月

 文部科学省
国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research
教育課程研究センター

1 学習評価の基本的な考え方

学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化，高校の新科目「公共」の新設
など

各教科等で育む資質・能力を明確化し，目標や内容を構造的
に示す

学習内容の削減は行わない※

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

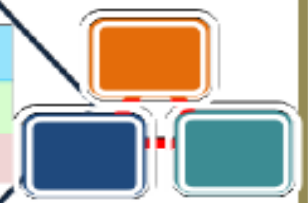
生きて働く知識・技能の習得
など，新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず，質の
高い理解を図るための学習
過程の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び



育成すべき資質・能力の三つの柱

学習する児童の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力，人間性等

どのように社会・世界と関わり，
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

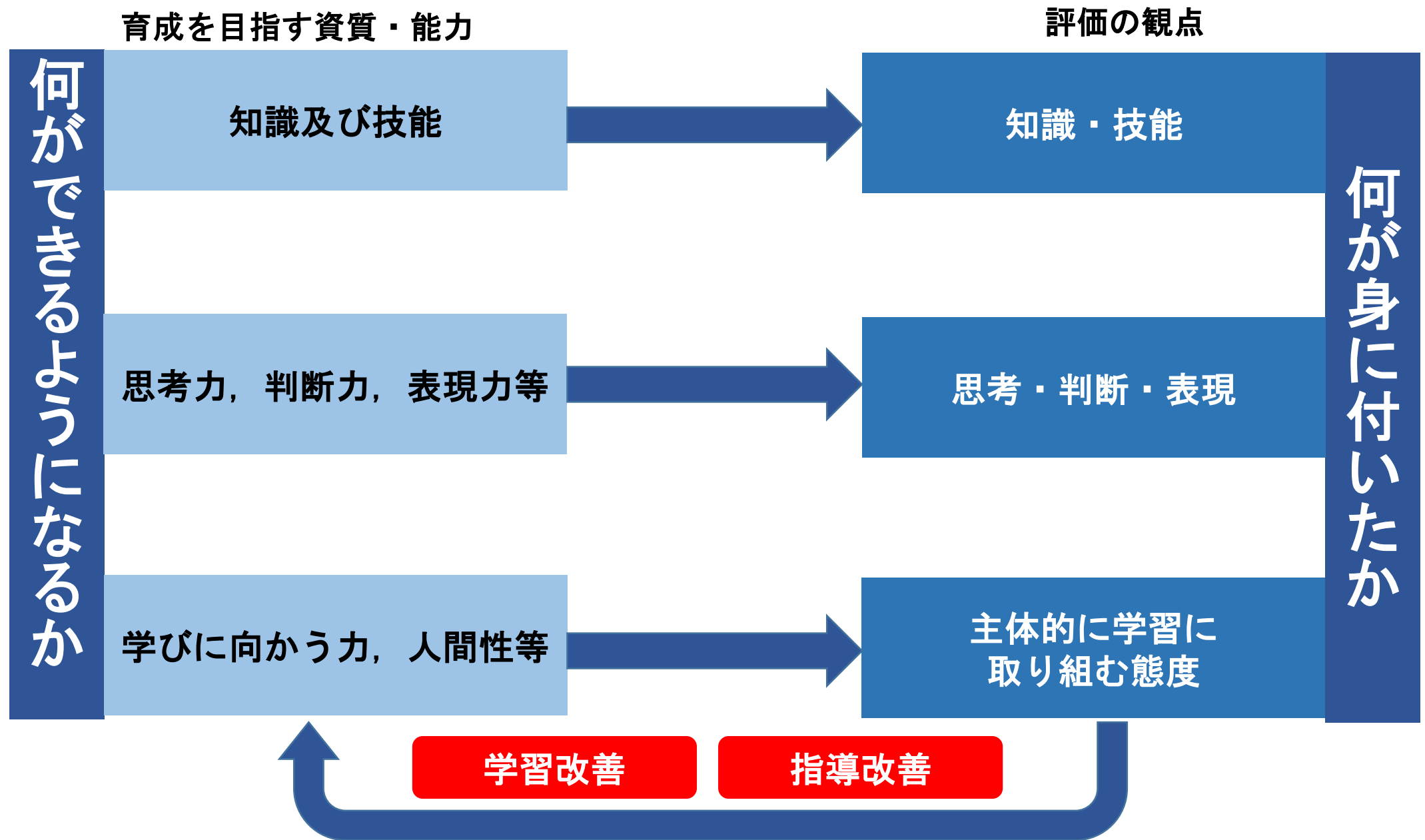
理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力，判断力，表現力等

【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

資質・能力の三つの柱と新しい評価の観点



音楽科 観点別学習状況の評価の観点の整理

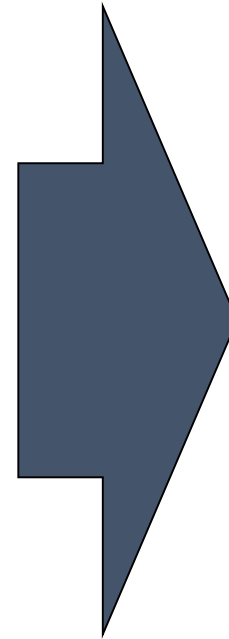
<平成20年改訂>

音楽への関心・意欲・態度

音楽表現の創意工夫

音楽表現の技能

鑑賞の能力



<平成29年改訂>

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度

2

小学校音楽科

評価の観点及びその趣旨

小学校音楽科における評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。・ 表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

小学校音楽科 評価の観点及び趣旨「知識・技能」

音楽科の目標と評価の観点の趣旨を見比べてみましょう。

小学校学習指導要領 第2章 第6節 音楽「第1 目標」

教科の目標（1）	「知識・技能」の観点の趣旨
<p>曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>知識及び技能</p>	<p>・ 曲想と音楽の構造などとの関わりについて<u>理解している</u>。 知識</p> <p>・ 表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、<u>音楽をつくったりしている</u>。 技能</p>

- ・ 目標に示した資質・能力が身に付いているかを評価する。
- ・ 「知識」と「技能」は、指導事項を分けて示していること、評価の場面や評価方法が異なることがあること、「技能」は「A表現」のみの設定であること等を踏まえ、別々に設定する。

※「知識」について評価する内容は、現行において表現領域では「音楽表現の創意工夫」、鑑賞領域では「鑑賞の能力」の観点等に含まれていたものに相当する。

小学校音楽科 評価の観点及び趣旨「思考・判断・表現」

音楽科の目標と評価の観点の趣旨を見比べてみましょう。

〔共通事項〕ア

教科の目標（２）	「思考・判断・表現」の観点の趣旨
<p>音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>思考力，判断力，表現力等</p>	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、<u>どのように表すか</u>について思いや意図をもったり、<u>曲や演奏のよさ</u>などを見だし、<u>音楽を味わって聴いたり</u>している。</p>

A表現
ア

B鑑賞
ア

- ・ 目標に示した資質・能力が身に付いているかを評価する。
- ・ 文頭に〔共通事項〕アに関する内容を位置付けている。
- ・ その後に、「A表現」に関すること、「B鑑賞」に関することをそれぞれ示している。

小学校音楽科 評価の観点及び趣旨「主体的に学習に取り組む態度」

音楽科の目標と評価の観点の趣旨を見比べてみましょう。

教科の目標（3）	「主体的に学習に取り組む態度」 の観点の趣旨
<p>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p> <p>学びに向かう力，人間性等</p>	<p>音や音楽に親しむことができるよう，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

「学びに向かう力，人間性等」の涵養に関する目標には、「感性や思いやり」など、観点別評価や評定になじまないものが含まれている。そこで、目標の中から、評価の観点である「主体的に学習に取り組む態度」に直接関わる部分を、観点の趣旨に反映している。

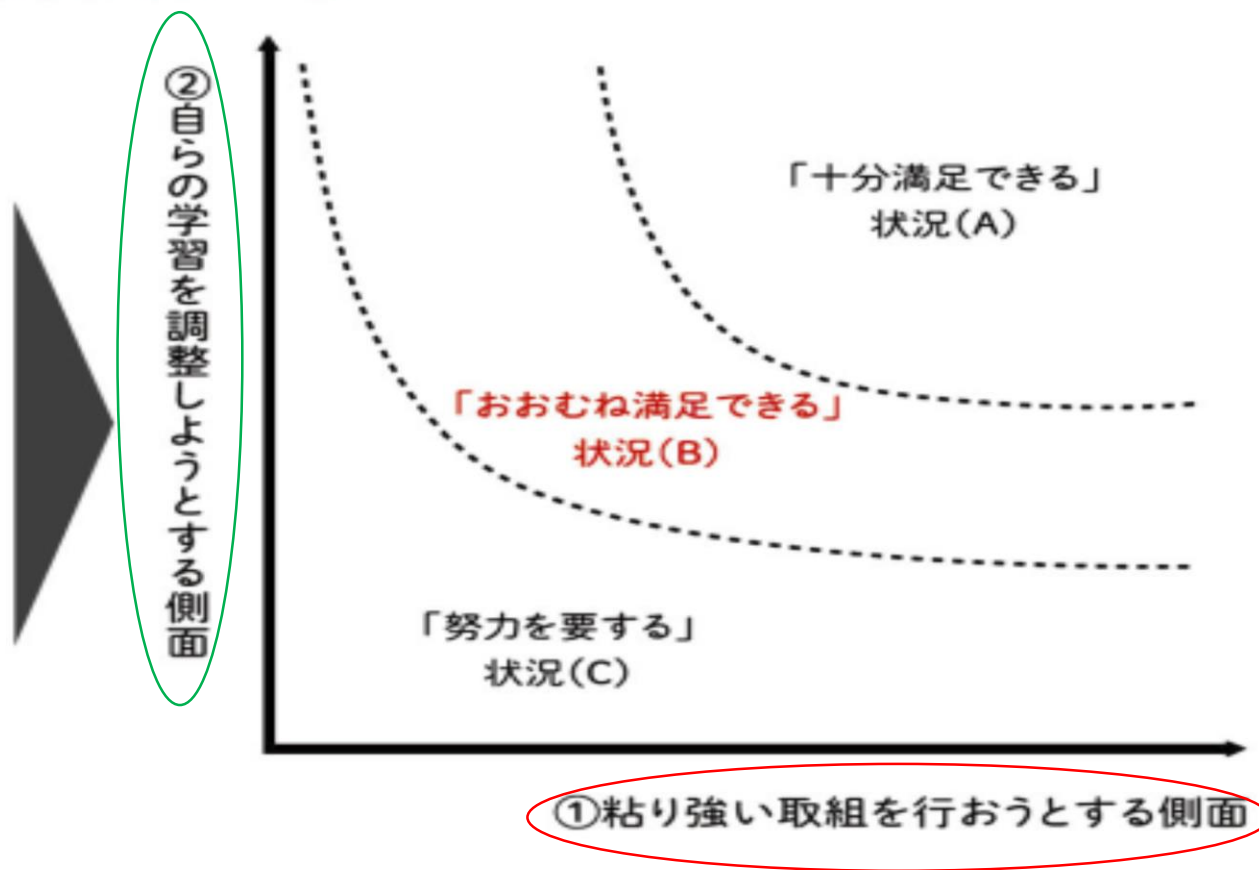
「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「主体的に学習に取り組む態度」については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



3 題材ごとの評価について

学習評価の進め方について

1
題材の目標を作成する



2
題材の評価規準を作成する



3
「指導と評価の計画」
を作成する



授業を行う



4
観点ごとに総括する

- 学習指導要領の目標や内容，学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 児童の実態，前題材までの学習状況等を踏まえて作成する。

- 「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方を踏まえて作成する。

- 1，2を踏まえ，評価場面や評価方法等を計画する
- どのような評価資料（児童の反応やノート，ワークシート，作品等）を基に，「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり，「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

- 3に沿って観点別学習状況の評価を行い，児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。

- 集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから，観点ごとの総括的評価（A，B，C）を行う。

題材の評価規準の作成のポイント

参考 題材の評価規準の基本構造（第1学年及び第2学年「A表現・歌唱」の例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて<u>気付いている。</u></p> <p style="text-align: right;">【知識】</p> <p>・思いに合った表現をするために必要な、<u>〔事項ウの(ア), (イ), (ウ)〕</u>（いずれかを選択）を身に付けて歌っている。</p> <p style="text-align: right;">【技能】</p>	<p>〔音色，リズム，速度，旋律，強弱，音の重なり，和音の響き，音階，調，拍，フレーズ，反復，呼びかけとこたえ，変化，音楽の縦と横との関係など〕（その題材の学習において，児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択）を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて<u>考え</u>，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。</p>	<p>〔その題材の学習に粘り強く取り組んだり，自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要となる，取り扱う教材曲の特徴や学習内容など，興味・関心をもたせたい事柄〕に興味をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に<u>歌唱</u>の学習活動に取り組もうとしている。</p>

題材の評価規準の作成のポイント

参考 題材の評価規準の基本構造（第1学年及び第2学年「A表現・歌唱」の例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。【知識】</p> <p>・思いに合った表現をするために必要な、<u>〔事項ウの(ア)、(イ)、(ウ)〕</u>（いずれかを選択）を身に付けて歌っている。【技能】</p>	<p>[音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり, 和音の響き, 音階, 調, 拍, フレーズ, 反復, 呼びかけとこたえ, 変化, 音楽の縦と横との関係など]（その題材の学習において、<u>児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択</u>）を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて<u>考え</u>、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p>	<p>[その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要となる、取り扱う教材曲の特徴や学習内容など、興味・関心をもたせたい事柄]に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に<u>歌唱</u>の学習活動に取り組もうとしている。</p>

題材の評価規準の作成のポイント

参考 題材の評価規準の基本構造（第1学年及び第2学年「A表現・歌唱」の例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。【知識】</p> <p>・思いに合った表現をするために必要な、<u>【事項ウの(ア)、(イ)、(ウ)】</u>（いずれかを選択）を身に付けて歌っている。【技能】</p>	<p>〔音色，リズム，速度，旋律，強弱，音の重なり，和音の響き，音階，調，拍，フレーズ，反復，呼びかけとこたえ，変化，音楽の縦と横との関係など〕（その題材の学習において，児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択）を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。</p>	<p>〔その題材の学習に粘り強く取り組んだり，自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要となる，取り扱う教材曲の特徴や学習内容など，興味・関心をもたせたい事柄〕に興味をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 学習評価に関する事例について

参考資料 P 53～

各事例概要一覧と事例

事例1 キーワード 指導と評価の計画から評価の総括まで
「曲のとくちょうをとらえて表現しよう」(第4学年)

事例2 キーワード 「知識・技能」の評価
「がっきのおとをたのしもう」(第1学年)

事例3 キーワード 「思考・判断・表現」の評価
「和音に合わせて旋律をつくろう」(第5学年)

事例4 キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価
「地域の祭り囃子に親しもう」(第3学年)

事例4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

題材名

地域の祭り囃子に親しもう
(第3学年)「B鑑賞」

内容のまとめ

〔第3学年及び第4学年〕「B鑑賞」
(1)鑑賞 及び〔共通事項〕(1)

1 題材の目標

- (1) 祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付く。 **知識及び技能**
- (2) 祭り囃子の音色, リズム, 速度, 変化などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 祭り囃子の音楽や演奏のよさなどを見だし, 曲全体を味わって聴く。 **思考力, 判断力, 表現力等**
- (3) 祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に祭り囃子の鑑賞の学習活動に取り組み, 地域の祭り囃子に親しむ。 **学びに向かう力, 人間性等**

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①知 祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。	<p>① 祭り囃子の音色, <u>リズム</u>, <u>速度</u>, <u>変化</u>を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p>② 祭り囃子の音色, リズム, 速度, 変化を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏のよさなどを見だし, 曲全体を味わって聴いている。</p>	① 祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

「音色」
「リズム」
「速度」
「変化」

主体的に学習に取り組む態度

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
第1時	◎祭り囃子の音楽の特徴に興味をもち、祭り囃子の学習についての見通しをもつ。 〈本時のめあて〉祭り囃子って何だろう？			
	○「祭り囃子とはどんな音楽だろう」という疑問から、「葛西囃子」を聴く。 ・どのような場面で聴こえてくる音楽なのかを想像しながら、「葛西囃子」を聴き、気付いたことを発表する。 ・「葛西囃子」で使われている和楽器とその音色に気を付けて鑑賞する。 ・「葛西囃子」の曲想及びその変化と、和楽器の音色、リズムとの関わりについて気付いたことを発表する。 ・「葛西囃子」の音楽を聴いて、分かったことをワークシートに書き、その内容を伝え合う。 ○東京の「葛西囃子」を紹介した手紙から、静岡の祭り囃子についても、知りたい、紹介したいという願いをもつ。			
第2時	◎児童が住んでいる地域に伝わる祭り囃子（「静岡浅間神社祭礼囃子」）の縮太鼓や面踊りの体験を通して、地域の祭り囃子の音楽の特徴に気付く。 〈本時のめあて〉静岡の祭り囃子の面白さのひみつを見つけよう			
	○地域の保存会の人の演奏や話を聴き、音楽の特徴に気付く。 ・静岡の祭り囃子「四丁目」を保存会の人による生演奏で聴く。 ・保存会の人から、歴史のある静岡の祭り囃子がどのように伝承されてきたかについて話を聞く。 ○縮太鼓や面踊りの体験を通して曲想の変化を感じ取ったり音楽の構造を捉えたりする。 ・縮太鼓の口唱歌を覚えて、基本のリズムを演奏したり、「四丁目」を聴きながら面踊りをしたりする体験を通して、「打ち込み（はじめ）」「はやし（なか）」「あげ（おわり）」という仕組みでできていることを実感する。 ○口唱歌や縮太鼓、面踊りの体験を通して実感した、静岡の祭り囃子の音楽の特徴をワークシートに書く。 【児童の反応やワークシートの記述例】 ・しめ太こは、はやし（なか）の部分で、「天ツツツツ テレツツツ」という、口しょうがのリズムをくり返してえんそうすることが分かった。 ・あげ（おわり）になると、ゆっくりになって面おどりもおじぎをして下がるのが分かった。			① 発言・記述
第3時	◎静岡の祭り囃子（「静岡浅間神社祭礼囃子」）の音楽の特徴について気付いたことを伝え合うとともに、音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 〈本時のめあて〉静岡の祭り囃子のよさを紹介しよう			
	○静岡の祭り囃子の体験を振り返り、音楽の特徴について気付いたことを伝え合う。 ・静岡の祭り囃子の音楽を聴きながら、前時の体験学習を振り返り、音楽の特徴（祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりなど）			

指で話し合う。

指のように指で拍をとりながら、速度やリズムの変化を捉える。

- ・音楽の特徴など気付いたことについて学級全体で伝え合い、その特徴に着目しながら味わって聴く。
- ・前回の学習では、気付かなかった特徴に着目して、祭り囃子の音楽や演奏のよさを見いだす。

第3時

○静岡の祭り囃子のよさを伝える紹介文を書き、その内容を伝え合う。
・交流したことを生かして、紹介文をつくり意見交換する。

【児童のワークシートの記述例】

- ・しずおかの祭りばやしは、楽しくてどんどんもり上がる音楽です。どうしてかという、しめ太このリズムがどどんかかわって、速くなっていくからです。
- ・よさの気付きを深めるため、聴き確かめたり全体を味わって聴いたりする。

○祭り囃子の音楽の学習を振り返り、友達の意見を聴いてなるほどと思ったことや、最初に聴いた時と比べて聴き方が変わったことなどを書く。

① 観察（表情・行動・発言・記述）

② 観察（表情・行動・発言・記述）

① 観察（表情・行動・発言・記述）

「主体的に学習に取り組む態度」の見取りのポイント

- 題材を通じて継続的に見取る。
(参考資料 P 81～P 83)
- 観察を中心に発言やワークシートの記述も加味する。
(参考資料 P 81～P 84)
- 知識などの評価との関連を図る。
(参考資料 P 83)
- 評価を記録に残す際には、題材終了時の姿で最終的に判断する。
(参考資料 P 81～85)
- 「自身の変容を自覚できる場面」を設定する。
(参考資料 P 84～86)

評価を行うに当たって

- ・主に観察によって「努力を要する」状況（C）と判断されそうな児童の学習状況を継続的に把握し、学習の改善に向けて丁寧に児童に働きかけることが必要不可欠である。

「自らの学習を調整しようとする側面」に課題が見られた場合・・・



どのような働きかけをしますか？

- ・指導に際しては、学習の調整に向けた取組のプロセスには、児童一人一人の特性があることから、特定の型に沿った学習の進め方を一律に指導することのないよう配慮することが必要である。
- ・児童の観察、発言の内容とワークシートの記述内容とを関連付けながら総合的に検討し、観点別の学習状況を記録に残すことにつなげることが肝要である。

5 おわりに



新型コロナウイルス感染症対策に関する通知等（音楽科に関わる内容）

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2020.6.16 Ver.2）

新型コロナウイルス感染症に対応した小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校等における教育活動の実施等に関するQ&A の送付について

学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について（第2報）（通知）

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について（通知）

音楽科におけるICTの活用

令和2年7月20日現在

「教育の情報化に関する手引―追補版―」
（令和2年6月）